

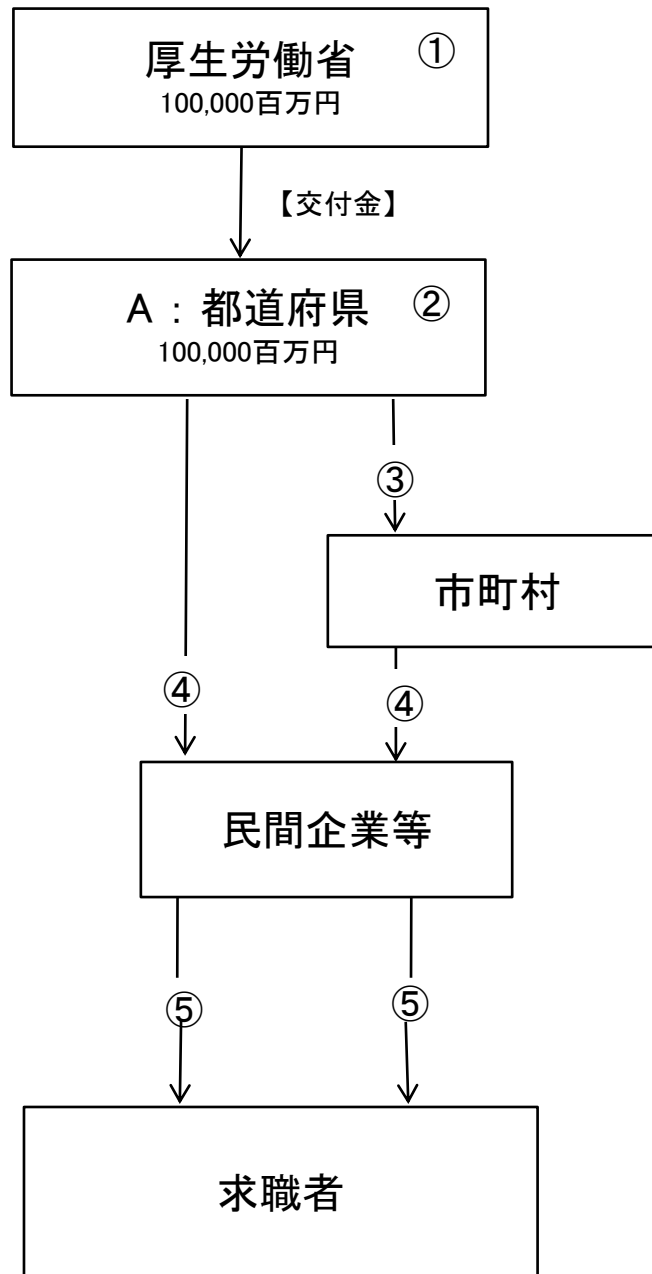
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	起業支援型地域雇用創造事業	担当部局庁	厚生労働省 職業安定局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24～25年度(一部平成26年度)	担当課室	地域雇用対策室	地域雇用対策室長 石垣 健彦			
会計区分	一般会計	政策・施策名	IV-2-1 地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出及び雇用の安定を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成25年1月11日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	依然として厳しい雇用情勢が続く中、地域の雇用を支えていた工場の閉鎖等厳しい雇用情勢に直面する地域が増加しており、こうした地域では安定的な雇用の受け皿を創造していくことが喫緊の課題となっている。当該基金は、上記の課題に対して、地域に根ざした事業を支援することにより雇用の創出を図るため、都道府県に基金を造成し、本社が起業時と同一都道府県内に所在する企業に対して支援をする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	離職した失業者等の雇用機会を創出するため、国が交付する交付金を財源として、都道府県に基金を造成し、都道府県及び市町村において、地域に根ざした事業の起業等に資する事業を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算					0
		補正予算			100,000		
		繰越し等					
		計			100,000		0
		執行額			100,000		
	執行率(%)			100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	雇用創出数	成果実績	-			-	-
		達成度	%			-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業費	活動実績 (当初見込み)				-	-
						()	()
単位当たりコスト	-	算出根拠		-			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	緊急雇用創出事業臨時特例交付金	0	0				
	計	0	0				

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	雇用創出を図るべく、都道府県より要望がなされている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	都道府県に基金を造成する事業であるため、国が行うべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	都道府県に基金を造成する事業であるため、支出先は都道府県となっている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点 検 結 果	本事業は、平成25年度末(ただし、平成25年度までに開始した事業については、平成26年度末)までの事業としている。			
外部有識者の所見				
各都道府県における基金の執行状況の把握を確実に行うとともに、今後積み増し・事業延長等を検討するに当たっては、必要性について十分に検証すること。(長崎・井出)				
行政事業レビュー推進チームの所見				
事 業 内 容 の 改 善	引き続き各都道府県における執行状況を把握を十分に行うとともに、今後の積み増し・事業延長等の検討を行う際には、その必要性について十分な検証を行うこと。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-	基金の積み増し・事業延長を行うに当たっては、これまでもその都度必要性の分析に努めてきたところであるが、今後の検討においても引き続き適切に対応することとしたい。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年		平成23年	
				平成24年

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する)(単位:百万円)

- ①厚生労働省は都道府県からの交付申請に基づき交付決定
- ②都道府県は交付金を財源として基金を造成
- ③都道府県は事業実施する市町村に対して補助
- ④都道府県又は市町村は事業を民間委託して委託費を当該企業に交付
(人件費(賃金、諸手当、社会保険料等)、事業費等)
- ⑤事業委託された企業は事業を実施して求職者を雇用し給与を支給

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金	雇用創出事業の実施	7,790			
計		7,790	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	雇用創出事業の実施	7,790		
2	福岡県	雇用創出事業の実施	6,520		
3	大阪府	雇用創出事業の実施	5,330		
4	北海道	雇用創出事業の実施	4,460		
5	兵庫県	雇用創出事業の実施	3,470		
6	神奈川県	雇用創出事業の実施	3,100		
7	京都府	雇用創出事業の実施	2,990		
8	静岡県	雇用創出事業の実施	2,610		
9	鹿児島県	雇用創出事業の実施	2,500		
10	埼玉県	雇用創出事業の実施	2,480		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					